

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス SOALA南ヶ丘校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～2024年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制整備が整っているところです。	厚生労働省のガイドラインに沿った広さや設備基準を確保しております。基準以上の配置基準であり、専門職(理学療法士・保育士・教員等)など様々な専門性を有した職員を配置しております。お掃除ロボット・大型空気清浄機・抗菌施工を取り入れ、清潔で心地よい環境づくりを行っております。静養室を完備し、休憩の場を提供しております。	兄弟児の交流機会を増やす為、広報の強化を行います。保護者向けイベントを検討し、家族支援を強化します。
2	業務改善と支援の工夫と質の向上を行っています。	活動プログラムの偏りを防ぐ為、複数名の指導員で立案しております。活動案に沿った支援を行い、支援の様子はInstagramで発信しております。業務改善として社内システムの導入を取り入れております。職員の支援を高める為、社内及び社外の研修を月1回以上受けております。	活動プログラムの多様化として、地域活動や他施設との交流機会を増やします。職員のスキル向上の為の研修機会を継続して参ります。
3	障がいのない子ども達との交流促進を意識しているところです。	ご家族、ご兄弟を含め、いつでも支援へ参加頂けるよう開けた事業所作りを意識しております。ご兄弟の来所を通じ、障がいのない子どもとの触れ合いの大事な機会に繋がっております。	苦情・相談の対応を強化して参ります。特に子供同士のトラブル解決についての報告充実に努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境面で、一部段差があり、完全なバリアフリーにはなっておりません。	事業所の向上上、完全なバリアフリーは困難ではあります。玄関、運動支援室への出入りに段差があります。	転倒予防のプログラムの強化と継続を行います。
2	保護者間の交流機会が少ないことです。	イベントや日々の支援において、いつでも保護者の参加を歓迎しておりますが、その広報が不十分かと考えております。保護者間の交流については、不要だとの意見もあります。	保護者参加型のイベントを拡充し、家族支援や兄弟児を含めた家族交流の機会を促進します。
3	保護者対応として、相談や申し入れへの対応について、より詳細な報告を求める要望への課題があります。	トラブル解決へ向けた取り組みや、対応の説明が不十分かもしれません。	苦情や相談対応の体制を強化し、保護者への説明を丁寧に行なって参ります。